

アディティブマニファクチャリング トレーニング

2020年10月開催のご案内 【Live オンライン開催】



Japan

Add value.
Inspire trust.

Fundamentals of industrial Additive Manufacturing 産業用 AM の基礎 (2日間:4時間/日)

注: ここでのアディティブマニファクチャリング(以下 AM)は、Additive Manufacturing、積層造形、3D プリンティングのすべてを含んでいます。

国際的な第三者試験認証機関テュフズード(本部:ドイツ ミュンヘン)は、量産技術として AM を活用するための各種トレーニングを始め、AM 製品の取引で要求される品質管理システムの構築支援・監査・認証サービスを提供しています。

本トレーニングでは、量産/最終部品の製造を想定した AM の基礎について学ぶことができます。内容は大きくは3つのパートに分かれます。パート1ではAM技術の概要、従来の生産技術・生産プロセスとの違い、AMの特徴、構造の欠点、AMで使用される材料の概観といったAM技術・材料・プロセスを取り上げます。パート2では、AMの応用事例をもとに連続生産やパーソナライゼーションの可能性について技術的・経済的な観点からの考察、既存の部品やアセンブリ品をどのようにAM部品に置き換えることができるか、将来的にどのような分野での応用が可能であるのかといったAM適用のヒントを取り上げます。パート3では、AM事業開発およびAM設備導入において要求される知識・考え方について幅広い視点で取り上げます。

想定されるトレーニング効果:

- AM事業全体に関わる体系的な知識の習得
- AM技術・材料・プロセスの基礎知識の習得
- 生産技術としてのAMの特徴と強みを理解し、技術的・経済的観点からのAM適用の基本的な考え方の習得
- AM事業開発・管理、AM設備検討に必要な基本的な考え方の習得

【概要】

- 序論
 - AM技術進化の歴史
 - AMの基本原則
 - ラピッドプロトタイピングと量産/最終部品の違い
 - AM関連産業の市場規模
- AM製法の概観
 - AM製法の分類(DIN EN ISO/ASTM 52900)
 - 各製法の加工特性・材料・用途例
 - 各製法間での特性・産業成熟度比較
 - 従来工法との比較にみるAMの優位点
- AM材料の概観
 - 各製法に用いられる主な材料と特徴
- 産業用AM
 - AMの製造工程・再現性の重要性
 - 適用する部品選定の基本となるロジック
 - AMの量産/最終部品製造の課題
 - 規制産業と標準規格化の現状
- 応用例の考察
 - AM適用の意図を技術的、経済的な観点で解説
- AM規格の現状
 - AM技術の標準化の重要性と動向

【講師】

永野 知与
AMエキスパート / テュフズードジャパン株式会社

【日時】

1日目: 2020年10月6日(火) 13:00~17:00
2日目: 2020年10月7日(水) 13:00~17:00

※ Microsoft Teams を使用して実施いたします。詳細はHPよりご確認ください。

【対象例】

- AM事業について初めて関わる方
- AMの業務経験があっても体系的な知識を得たい方
- 新規事業としてAM技術をご検討の方
- AM事業責任者
- AMに関わる直接部門・間接部門のOff-JTとして

※他認証機関および関係者のご参加はご遠慮願います

【受講条件】

特にありません。

【受講証】

2日間すべて受講された方には受講修了証を後日発行します。

【費用】

49,500円(英日テキスト、受講修了証、税込み)

【お申込・詳細】弊社HPよりお申し込みください。

<http://www.tuvsud.com/ja-jp/infoservice>

2020.08.21版

テュフズードジャパン株式会社 インフォサービス部

[本 社] 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4 住友不動産西新宿ビル 4号館 8F
TEL : 03-3372-3497 FAX : 03-3372-3347 E-mail : infoservice@tuv-sud.jp
www.tuvsud.com/ja-jp



TUV®

Facebook
テュフズード